

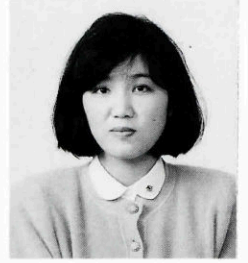


わたしのまちづくり

シリーズ⑳

白藤 宏 さん

(豊原)



村田いつ子 さん

(沢江)

人にやさしい三隅町民で ありたい

三隅町は健康の町であり福祉の町になろうとしています。湯免に福祉専門学校が出来、他の町からも多くの学生が入学して学んでいます。福祉という言葉から連想することは「やさしさ」だと思う。やさしい心がなければ福祉は成りたないと思う。

いま三隅町は人口流出が進んでいます。こういう時に大切なことは人に対するやさしい気持ちだと思う。朝、会う人にあいさつをする。なにげないあいさつは人間の気持ちをおだやかにしてくれます。やさしい心をもった三隅町であることがこれからの三隅に大切なことだと思う。

体力づくりのためのトレーニングセンターもこれから作られると聞いているので期待しています。そしてスポーツをする人口を増やすこともこれから大切なことだと思う。町民一人ひとりが何かスポーツをするようになることがいいのではないのでしょうか。

みんなで力を合わせてすばらしい三隅町にしたいものです。

わたしのまちづくり

まずは三隅町民として、村田清風旧宅の修復がなされているが、周辺の環境整備も併せてしてほしい。記念館の中にも入った事がないが、どの様な手続きで入館するのだろう。バイパスも出来て、修復中にも拘らず大型バスが待機しているのも時には見かける。萩・長門の観光コースに清風旧宅や美術館が入り、ここを結ぶバイパスが単なる道路でなくドイツのロマンティック街道の様に一つの名所となればどんなに素晴らしいとか。

次に母親として、浅田小が新しくなって嬉しいが、新入学児童が10人前後では何とも寂しい。40歳に手が届こうかという私にさえ「もう1人」「齢を取っての子供は可愛い」と言われても…そこで町営住宅を増築してほしい。それも2DKだけでなく、子供が3人居ても住める間取りのものを。現在は車社会だから勤務先がたとえ長門でも(三隅なら尚結構)子供は町内の学校という事になり万々歳!

思う事は数々あるが、皇太子殿下が「雅子さんのことは一生全力で守ります」とおしゃった様に、町職員、議員の方に「三隅町政のことはお任せ下さい。私達が全力で守ります」と自信を持って言ってほしいなァ。



新刊図書紹介

トレセン図書室より

(子ども向き)

「文芸まんがシリーズ」

● 夢十夜／文鳥 夏目漱石

● 舞姫／うたかたの記 森 鷗外

● 杜子春／羅生門 芥川龍之介

● 風の又三郎 宮沢賢治

● 風立ちぬ 堀 辰雄

● 伊豆の踊り子 川端康成

● 閑ぎようせい

(成人向)

「清貧の思想」

中野孝次・柳草思社

「愛を感じるとき」

金賢姫・沢田田菊敏

柳文藝春秋

◆ 五月下旬に県立図書館の児童用文庫を入れ替えます。

どうぞお立ち寄りください。

